

# ガラスびんの3R推進のための自主行動計画

平成18年3月28日  
ガラスびんリサイクル促進協議会

## はじめに

ガラスびんリサイクル促進協議会及び利用事業者においては、ガラスびんの3Rを推進し、循環型社会の形成に資するため、これまで各種の活動を行ってきたところである。

こうした中、今般の容器包装リサイクル法見直しに係る審議において、容器包装に係るリサイクル八団体は「容器包装リサイクル法の目的達成への提言」と題する提言を行ない、事業者による3R推進に向けた自主行動計画の策定、及び主体間の連携に資する取り組みを実行する決意を表明したところである。

そこで、ここにガラスびんの3R推進のための自主行動計画を定め、結果についても情報開示していくことを公表する。ガラスびん関連業界においては、他の主体との連携・協力も得ながら取り組みを推進し、環境負荷・社会的総コストの低減を図り、環境と経済の両立に資する所存である。

## 1. 「3R」推進目標

### 1.1 リデュース（軽量化・薄肉化）

軽量化目標：2004年対比で2010年までに1本あたりの重量を1.5%軽量化 (2010年189g/本・2004年192g/本)
---------------------------------------------------------------------

- ・ビールびん、牛乳びん、食料・調味料びん等において、既に一部軽量化が行われている（1995年から2004年で約7%軽量化（重量原単位）が行われた）。
  - ・軽量化推進の課題
    - (イ) ガラスびんを利用する中身が多岐に亘っているため、多数の中身業界団体に賛同を得ながら進めていく。
    - (ロ) 容量、形状の種類が多く、既に軽量化が行われているものがある。
    - (ハ) 小容量のびん、用途等によっては品質の保持・安全性の確保等の観点から軽量化が困難なものが多い。
- 以上の課題を踏まえ、軽量化に順次取り組み、実現できたものは情報開示する。

## 1.2 リユース（リターナブル容器の普及）

リターナブルびんが展開されているビール・清酒・牛乳を中心とした市場のリターナブルびんの調査研究をすすめるとともに消費者啓発の観点から、リターナブル容器のPRや試行事業の実施に努める。

- ・ ビールびん、1.8Lびん、牛乳びん等のリターナブルびんの流通量は、平成8年の450万トンから平成15年の190万トンに半減しているが、これらの既存市場の維持に向け業界と協議し施策を展開する。
- ・ 特定分野・特定地域におけるリターナブルびん普及のモデル事業を検討し、行政の指導のもとに、消費者・市町村・事業者（中身メーカー、流通業者、ガラスびんメーカー、びん商）が連携して取り組む。
- ・ 新たな規格統一びんを普及するための調査、仕組み作りの研究を行う。（例…南九州地域での焼酎900ml規格統一びん）

## 1.3 リサイクル（カレット利用の促進）

- ・ カレット利用率の向上：2010年カレット利用率目標91%
- ・ 再商品化市場の開発拡大（エコロジーボトルの拡大、他用途利用市場の開発）
- ・ リサイクル品質の高度化に向けた「自主設計ガイドライン」の作成と徹底
- ・ 3R推進のための消費者向け啓発活動の強化と市町村への情報提供

### （1）カレット利用率の向上

- ・ 「カレット利用率」（カレット利用量／ガラスびん生産量）は、平成7年の61.3%から平成16年には90.7%にまで向上している。
- ・ ガラスびんメーカーは、平成22年度のカレット利用率目標を91%に設定し、引き続きカレット利用率の維持、向上に取り組んでいく。（ガラスびん製造業は「資源有効利用促進法」において特定再利用業種に指定されている。）

### （2）再商品化市場の開発

- ・ 「無色」及び「茶色」についてはガラスびん原料としての利用を引き続き推進する。
- ・ 「その他の色」カレットの利用拡大を図るために、これらを90%以上利用した「エコロジーボトル」の利用拡大を図る。また、「その他の色」カレットについてガラスびん以外の用途（住宅用断熱材、道路舗装材、タイル・ブロック、地盤改良材等）への需要拡大を図る。

### （3）リサイクル品質の高度化に向けた「自主設計ガイドライン」の作成と徹底

- ・ 3Rの推進に向けたガラスびんの自主設計ガイドライン（ガラスびんの組成、質量、形状、ラベル、キャップ等に関する事項）を作成し、ガラスびんのリサイクルに関与するすべての事業者（びんメーカー・ボトラー・カレット商・びん商）への徹底を行なう。

## 2. 主体間の連携に資するための行動計画

### 2. 1 主体間の連携に関する取り組みの現状

#### (1) ホームページに3Rの取組み、関連データを掲載

ガラスびんの3Rについて訴求するため、3Rに即した構成に全面改訂を行い、今後一層の内容の充実を図る

- ・ 消費者のページ
- ・ 自治体のページ
- ・ 促進協のページ
- ・ 子供のページ「びんのリサイクル教室」
- ・ データ集ほか

#### (2) ホームページによる他用途利用に関する情報提供(市町村向け情報提供)

- ・ カレット入り道路舗装の施工実績、同技術データ、各種他用途利用例

#### (3) 分別排出徹底に資する消費者啓発活動、環境情報の提供

- ・ 情報紙「びんのリサイクル通信」を年3回発行し、会員に配布するとともにホームページに掲載。
- ・ 当会ホームページに3Rの取組み、関連データを掲載
- ・ エコプロダクツ出展等を通じてのガラスびん3Rについて訴求
- ・ 環境教育の一環として小中学校のガラスびん工場・カレット処理工場の見学受入
- ・ リサイクル情報(ポスター、パンフレット等)の提供
  - ーポスター「カレットからガラスびんへ」
  - ーポスター「あきびんからカレットへ」
  - ーポスター排出ルール「一緒にしないで」
  - ーポスター「リサイクルの流れ」
  - ーパンフレット「ガラスびんリサイクル」
  - ー小学生向けパンフレット「ガラスびんの“3つのR”」
  - ー情報紙「びんのリサイクル通信」(年3回発行)
  - ーチラシ「びんの排出ルール」

#### (4) 分別収集徹底に資する地方公共団体に対する協力

- ・ リサイクル情報(ポスター、パンフレット)の提供を継続する。
- ・ 地方自治体リサイクルセンター等での市民の環境学習に役立つガラスびんのリサイクルキット等のツール提供
- ・ 地方自治体等での品質の良いあきびんの確保のための品質調査、品質向上のための提案
- ・ 自治体向けリサイクル展示キットの配布

### 2. 2 主体間の連携に資するための行動計画

ガラスびんの3R推進に係る自主的な取り組みを進めるとともに、市民(消費者)、国・地方公共団体等との主体間の連携に資するため、目標年次を2010年度として以下の取り組み

みを実施する。

**(1) 情報提供・普及活動**

- ・エコプロダクツ等の展示会への出展協力及び充実化
- ・3R推進・普及啓発のための自治体・NPO・学校等主催のイベントへの協賛協力
- ・3R推進・普及啓発のための自治体・NPO等の研究会への参加協力
- ・3R推進・普及啓発のための共同ポスターなどの作成

**(2) 調査・研究活動**

- ・分別収集・選別保管の高度化・効率化などの研究会への協力
- ・分別収集効率化などのモデル実験への協力
- ・消費者意識調査の実施 等

**(3) 他団体と共同実施する活動**

容器包装リサイクル八団体等で構成する「3R推進団体連絡会」を通じ、以下を実施する。

- ・容器包装廃棄物の3R推進・普及啓発のためのフォーラムの開催
- ・容器包装廃棄物の3R推進・普及啓発のためのセミナーの開催
- ・各団体ホームページのリンク化・共通ページの作成などによる情報提供の拡大
- ・エコプロダクツ展への共同出展

以上

**【会員並びにご賛同いただけるガラスびん利用事業者団体】**

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| * 日本酒造組合中央会     | * ビール酒造組合      |
| * 日本洋酒酒造組合      | * 日本ワイナリー協会    |
| * 日本蒸留酒酒造組合     | * 日本洋酒輸入協会     |
| * 社団法人全国清涼飲料工業会 | * 社団法人日本乳業協会   |
| * 全国食酢協会中央会     | * 社団法人日本ソース工業会 |
| * 社団法人日本植物油協会   | * 日本ジャム工業組合    |
| * 日本化粧品工業連合会    | * 日本製薬団体連合会    |